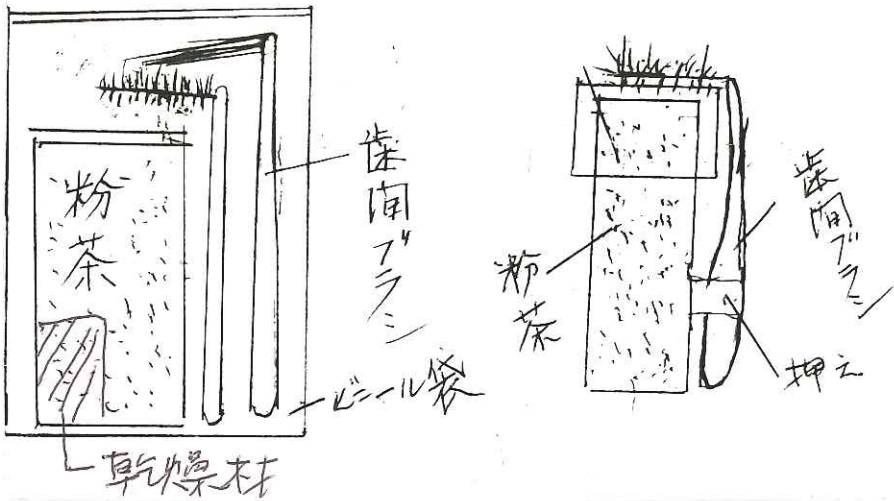


※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

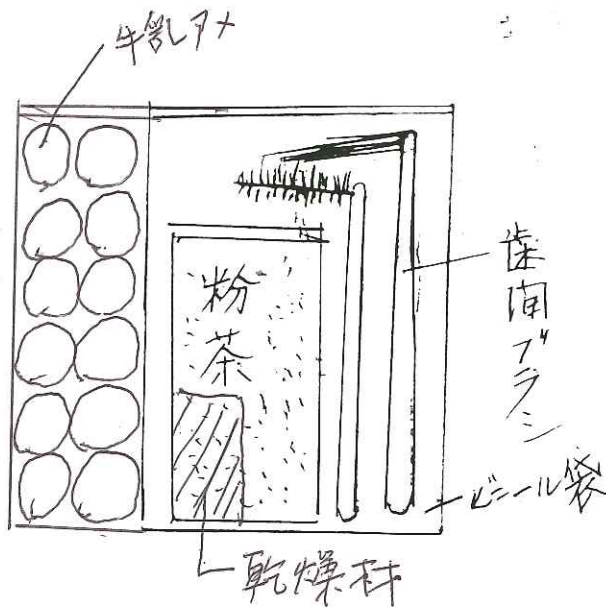
アイデア作品説明用紙 (整理番号 6003)

アイデアの名称

①アイデアの説明図



②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)



個人情報
【住所】
【氏名】
【TEL】

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。

この度の大地震で、もう一つ非常に恐れなければならないものがあると、思われます。それはインフルエンザの流行です。それはどう見ても被災者の間に、特に集団に、なって避難している人達に起こる確率が高い、そしてそれが東北地方、日本国中へと拡大した場合地震、津波、原発問題と、弱体化した日本に最後の 一撃を加える事になり、日本は壊滅する事になるでしょう。それを防ぐための一つの提案をしたいと思えます。それは行為としては、簡単なことで、歯間ブラシに粉茶をつけて食後、あるいは間食後に、歯をみがくということです。この行為は私(78歳の歯周病に悩む老人)が、ある二つのことからヒントを得て4カ月ぐらい前から、やっている事です。ヒントの一つはお茶屋さんに、このようなポスターが、張ってありました、全日本茶商工業協同組合連合会発行のもので「緑茶のカテキンは、ウイルスの型にかかわらず、予防効果あることが、実証されている」静岡大学薬学部、山田浩教授と言うものです。またもう一つはNHKの「ためしてがってん」という番組で2回に渡って、お茶の健康へのいろいろな、驚くべき効果を放送したことです。効き目のあると放送された、ことを並べてみますと、茶所はがん死亡率全国一低い、善玉コレステロールの増加、生活習慣病率が低い、長寿獲得コスト(薬や医師に支払う費用)、全国一低い、高血圧、動脈硬化、糖尿病の予防、等々である。

しかし効果がでるのは濃いお茶を、10杯飲まなければいけないということでした。その量を毎日摂るのは普通には出来ないことなので、そこで私は歯を一度、何もつけずに歯間ブラシできれいに磨き、その後、市販の粉茶を小皿に取り分け、それを歯間ブラシに2、3回つけて磨いています。この方法だと、簡単であり歯を磨く時に、習慣的にやるので、忘れるということもなく、自然にお茶を、摂ることが出来、また摂る量も自分で調整できます(あまり多く摂ると便が、柔らかくなる場合があります)、またそのまま粉茶は飲み込んでやりますので、お茶を飲むのと違い、その養分摂取量には相当の差があり、水の使用量もブラシを洗う位で少量で済みます。この時多少の苦味があります、また歯が黄色になると、心配する人もおると思いますが、自分の健康のため、国家存亡の危機のために、我慢してもらわなければなりません。また料理に使ったり、抹茶のようにして、飲むことも出来ます。

支援の方法としては、茶所の方々に、ある期間、粉茶を、提供してもらわなければならない事になるのですが、それはこの不景気の中、大変な事とは思いますが集団で避難している、人達にだけでも、お願い出来ないものでしょうか。これには

幸いにもと言うか、本来の目的としたものではありませんが、その支援に対して、大きな見返りがあるかもしれません、それは、もしお茶に予防効果があると実証された時、お茶への見目が一変し、需要も膨大なものとなるでしょう。もし世界にインフルエンザが蔓延している時、大災害を受けた日本が、この支援によって、平然としていたとしたら、さすが日本と、世界は日本を見直すだろうし、そしてそれはお茶の様な自然なものを、もっと大事にしなければならないという、風を世界に一気に、吹き起す、きっかけになるかもしれません。勿論、日本茶に対する需要も世界的になるでしょう。

図1、図2は粉茶と歯間ブラシをビニールの袋に入れて、出先でも使えるようにしたものです。図3は図1に牛乳飴を入れたものです。何故入れたかと言うと、一つは前述のNHK2回目の放送で、牛乳とお茶を一緒に飲むと、カテキンの吸収が良くなると言っていたこと、もう一つは苦味を特に嫌う人と、子供の為です。

もしこの事が、実行可能なことであれば、私の権利等無視して、かまいませんので、早く実行して下さい。お茶は、予防効果は、実証されているようですが、それ以上のことは、実証されていないようですから。また私の歯周病への効果は、私の一例に過ぎませんが、はぐきが確りして、少し固い物も噛めるようになりましたので、効果あったものと、確信しています。